



2025.4.16)毎日新聞

沖ワークウェル社長 堀口明子

仕事をする上でコミュニケーション能力を高めていくことは大切です。能力の高い人は、相手の意見を尊重しながら、的確に自分の考えを伝え、自分に必要な情報を得ています。また相手との信頼関係を築き、仕事を円滑に進めています。

なかでも相手との意見交換に重点を置いた対話力が重要になってきました。対話では相手の話を引き出し、深く掘り下げ

生成AIは膨大なデータを学習し、テキストや音声、画像、プログラムコード（コンピューター）など、さまざまなコ

ンテンツを生成する人工翻訳、データ分析、カスタマーサポート、デザイン支援、アイデア創出などの分野で活用されていますが、AIとの対話のプロンプトが具体的でない、期待通りのものが

担当者には上肢に不自由のある社員がいて、コード作成を生成AIにより効率化し、キーボード入力の時間を短縮しています。ただし生成AIは間違つことがあるため、チ

エックは必須です。生成AIは大変便利で役に立つものですが、有効活用に必要な対話力を磨いていきたいと思います。ま

た、これが人と人とのコミュニケーションのヒントにもなるかもしれません。

AIとの対話力磨こう

ることが求められます。が、最近は対話の相手が人間とは限らなくなっています。それは生成AI（人工知能）の活用が身近になってきたからです。

知能技術です。利用者がコンピューターのプロンプト（AIへの指示）に要求や質問を入力し、対話をしていくことでAIが適切な回答や結果を素早く生成します。文章作成や

得られません。対話力が問われています。

生成AIを積極的に活用するなかで、適した使い方や対話のノウハウもたまつきました。小難題開発では生産性向上に役立っていると聞いています。プログラミング

対話力は経験を積むことで養われます。生成AIは大変便利で役に立つものですが、有効活用に必要な対話力を磨いていきたいと思います。ま

た、これが人と人とのコミュニケーションのヒントにもなるかもしれません。

（本文は元稿からの抜粋です）